

## 【中期日程】中百舌鳥キャンパス・名古屋試験場

### 試験当日用持ち物チェック✓

- ☐ 本学受験票（事前に自宅等で印刷したもの）
- ☐ 大学入学共通テスト受験票
- ☐ 筆記用具
- ☐ 時計（時計機能だけのもの）

＜受験上の注意＞ 必ず印刷して内容を確認し、受験票とともに試験当日に持参してください。

1. 試験日程 2023 年 3 月 8 日（水） 入構開始時刻 8:00
2. 個別学力検査は、次の時間割に従って実施します。

| 事 項     | 工学部   |       |       |
|---------|-------|-------|-------|
|         | 理科    | 数学    | 外国語   |
| 受験者入室開始 | 8:20  | —     | —     |
| 受験者入室完了 | 9:00  | 12:40 | 15:40 |
| 試験開始    | 9:20  | 13:00 | 15:50 |
| 試験終了    | 11:20 | 15:00 | 16:50 |

3. 個別学力検査会場への交通機関及び道順については、必ず確認しておいてください。なお、試験会場を下見する場合、建物内には立ち入ることはできません。
4. 受験者は、個別学力検査等当日、「本学受験票」、「大学入学共通テスト受験票」、筆記用具及び時計を必ず持参してください。（大学入学共通テスト受験票は入学手続時にも必要なので、大切に保管してください。）
5. 指定された試験室に「入室完了」時刻までに入室してください。ただし、入構してから入室開始時刻までは建物に入ることはできませんので、建物の外でお待ちください。なお、混雑緩和のため、入室時は本学教職員の指示に従ってください。入室時等、受験者同士の会話は控えてください。  
本学受験票を紛失又は忘れた場合は、各試験場入り口の本学教職員に申し出てください。大学入学共通テスト受験票を紛失又は忘れた場合は、そのまま試験室に入室し、監督者の指示に従ってください。
6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各自マスク（不織布製）を持参し、試験場内では、昼食時を除き常にマスクを着用してください（鼻と口の両方を確実に覆うこと）。また、休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話は控えてください。試験当日朝の検温、手洗い・手指消毒を行い、感染症の予防に努めてください。なお、昼食は各自用意してください（食事用の控室等の開放は行いませんので、自分の席で食べるようにして発生したごみは持ち帰ってください）。
7. 万一遅刻した場合は、試験開始後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は認めません。面接・口述試験については試験開始後の遅刻は認めません。  
なお、遅刻の原因が、試験当日の特別な事情（別記の事由）によるときは、試験開始後 60 分（面接・口述試験は 30 分）までは受験を認め、試験時間の延長を認める場合がありますので、試験開始時刻までに入試課（TEL072-254-9202）まで申し出てください。

### 【別記】

- （1）交通機関（時刻表を定めて運行しているものに限る）が、事故等で「乗車できない状況」又は「降車できない状況」になり、30 分以上の延着になったとき。
- （2）試験場に向かう途上での予期せぬ事故（自然災害含む）及び負傷、発病。

天候・交通機関（遅延・運休）の状況により多数の遅刻者が予想される場合は、試験時間を繰り下げて実施することがあります。その場合の遅刻限度は、新たな試験開始時刻から起算し、原則として以後の受験は認めません。なお、上記の場合は、本学 Web サイト

（<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/news/>）で確認することができます。

※遅刻の原因が Web サイトに掲載した事由の場合は、入試課への申し出は不要です。



8. 机の上の番号と受験番号が一致するように着席し、「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」を机の上の番号の横にならべて置いてください。

9. 受験票のほかに机の上に置けるものは、「黒鉛筆（H、F、HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。シャープペンシルでも可。）、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）、直定規（コンパス・分度器・三角定規は不可。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。アラームは設定を解除してください。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）」のみで他の携行品は、各自、取りまとめて監督者の指示する場所に置いてください。なお、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類は、試験室に入る前に必ず電源を切つかばん等にしまい、身につけないでください。また、アラーム機能があるものは設定を解除したうえで電源を切ってください。アラームは設定を解除しないと電源を切っても鳴る可能性がありますので十分注意してください。試験時間中に、携帯電話等をかばんにしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為として取り扱うことがあります。
- 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでいただくことがあります。なお、試験室の換気を行うことがありますので、上着など温かい服装を持参してください。
10. 監督者が「解答始め」の指示をするまで問題冊子を開かないでください。
11. 試験開始後は、当該教科の試験が終了するまで退室できません。  
受験中、受験に耐えられなくなったとき（病気・トイレ等）は、黙って「挙手」し、監督者に申し出てその指示に従ってください。なお、その場合一時退出時の試験時間の延長は認めません。
12. 試験終了後、監督者が解答用紙を回収し、「退室」の指示があるまで退室しないでください。  
解答用紙の回収作業等や新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための混雑緩和の退室方法により、最終退室時刻が試験終了の 30 分程度後になることがあります。
13. 入学試験において、不正行為が判明した場合は、厳正に対処します。また、合格者が不正行為をしたことが判明した場合は、合格を取り消します。
14. 受験者本人以外は、構内及び試験場の建物内には入れません。付添者の控室は設置していません。来学の際は、原則公共交通機関等を利用することとし、自家用車による送迎は控えてください。

#### 新型コロナウイルス感染症への対応に関して

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本学で行う対応については、本紙（受験上の注意）に加え、試験当日試験場や本学 Web サイト等にてお知らせいたしますので、内容に従って行動してください。また、「新たな生活様式」を実践し、体調管理を心がけてください。

1. 日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認し、試験日の 1 週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関で受診してください。なお、名古屋試験場では貸会場の性質上、入館時に非接触体温計による検温を行います。37.5 度以上ある者は入館できません。
2. 次の①～⑤に該当する者は受験できません。特別日程試験の受験を検討してください。特別日程試験については、学生募集要項 65～75 ページをご確認ください。
  - ①新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
  - ②保健所等から試験日を含む期間、濃厚接触者に該当するとされた者
  - ③試験当日、発熱・咳等の症状がある者
  - ④新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る新たな措置により入国できず受験できなかった者
  - ⑤海外から日本に入国して受験する場合に、入国後の待機期間中の者

※②に該当する者のうち、発熱・咳等の症状がない無症状の者で初期スクリーニングの結果が陰性かつ、本試験の受験を希望する者は、試験日の 2 日前正午までに申し出てください。ただし、名古屋試験場では本試験の受験希望はできません。要件や申出先の詳細は、学生募集要項 65～66 ページにて確認してください。